

創設五十周年を迎えて

愛知大学文学会は、今年、創設五十周年を迎えました。

戦後の混乱がまだなお残る一九四九年、文学会は、文学部の設立と同時に創られ、二十世紀の後半と重なる五十年間を、機関紙文学叢書の発行を中心とした活動を通じ着実に歩んでまいりました。もとよりそれは、厳しい状況の中で創設に尽力された草創期の方々の志を受け継ぎ、優れた研究を生み出し世に問おうとする会員諸氏の熱意と努力の賜物であることは言うまでもありません。

今、五十年の時を経、新しい世紀を直前にし、大学を取り巻く状況は厳しさを増してきています。こうした状況を受け、本学を含め各大学でさまざまな改革の試みがなされています。しかし、大学がいかに変貌を遂げようとも、その社会的な使命が教育と研究にあることに変わりはありません。そして文学会は、大学における研究の一端を担っています。時代に迎合するのでも敵対するのでもなく、本来の意味での批判に立つという自由な研究こそが文学会の精神であったと考えます。このことは、今後も受け継ぐべき伝統であり、その上にさらなる発展と飛躍を期したいと思います。

平成十一年十一月

文学会委員長 奥村敏